

寿都町 対話の場 (第15回)

日時 2023年2月21日(火) 18:30~20:50

場所 寿都町総合文化センター ウィズコム

次第 自由討論

(一部) 文献調査の進捗状況

(二部) 将来の町の在り姿について (前回の続き)

文献調査に
対する意見

文献調査段階で
(住民投票前よ)
賛否を問うのは難
しい。

遅延を基準に
可否判断出来な
い。

オ3,4の文献調査地点が
浮上したタイミングで
町民の方を対象にした
勉強会を開催すべき。

タイトル

質問
意見

回答

第一部 文献調査の進捗状況

説明内容

国の対応

時間を要する理由

事業のプロセス

文献調査結果は原子力規制委員会が評価しないのか

どうして文献調査に時間がかかるのか

文献調査は過去に起きた事を確認しているだけ。不明な事は、概要調査(ボーリング)を行うべき。

政府の基本方針でこの段階の評価を実施

- 場所によっては異なる項目や文献の量が多くなる
- 透明性をとって専門家の変更をふまえて調査可能な範囲で

概要調査の内容をわかりやすくする

概要調査の安全性を正しく説明したい

概要調査 = 処分場建設の誤解がある為、その誤解を打ち消すべき

温水は経済的価値があるか判断するのか

文献調査段階で除外となった対象地は存在するのか

表層地中の「地下管路(管路)」に興味がある

水までの天災の歴史を知りたい

地質を細かく整理したものを提供したい

地熱発電がどの程度かどうか水の流しをふまえて評価する

地域的に除外するところが出てくる可能性あり

表層地中の「地下管路(管路)」を立体平面で知りたい

地震による地下岩盤への影響度は?

第一部 文献調査の追捗状況

15⑤

説明するときの工夫

判断基準

判断の結果を明確に示す

管理責任者を明確に

説明の方法

わかり易い説明資料(パンフ)の作成

「よくわかる文献調査報告書」というパンフを作成し欲しい

難しい表現や言葉をもっと一層分かりやすく説明してほしい

科学的なことが理解し易い説明資料が必要では

一般の地回で不適

どのような判断規準で判別しているのか。(市民が納得できる基準)

どう判断すれば良いかの基準が欲しい

(先)例が無い

海外における判断基準の存在。(適地か否か)

文献調査で良い所、悪い所を(ハッキリして欲しい)

地層処分した後その土地の管理を責任を持つのか明確にすべき

「10万年管理」というワードが不安になる。不安につながるワードは使わない。

第三者的立場の人が説明だと分かり易い。

中立的立場の人が説明だと説得力がある。

15⑥

一般の地回で不適地と聞くと理由を分かり見せたい

(適地か否か)

それぞれの事業への関心を高める

数万人の市民の方に(慎重な考えを)JAEA関係の六ヶ所を視察し地層処分事業に興味・関心を持ってもらう。

全国的に文献調査地点が増え、全国的な議論が進めば、市民の意識も変わるのではなか

15⑥

第二部 将来の町の在り姿について

<医療> = <福祉>
<農業>
<ワークション>
三位一体の町

「全においてバランスが
取れている町」
↓
<町並>
ワークション
食
温泉
全が充実している町
寿都は医療・福祉
が充実している。
→ 6ヶ所と比較して
優れている。

個人が仕事ととら
町をや、来り町
(ワークション)

余暇が創出
↓
趣味に向かえる

「発信力」が伴う

産業が盛ん
なる
・人の定住の町
・エ・リベーションの進化

50年〜100年後を考えると
全ての業種において
後継者の確保・育成
が大切ではないか

企業誘致
「ノウハウ」と「器具」
を伴って町の誘致

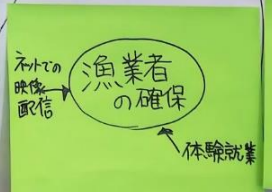
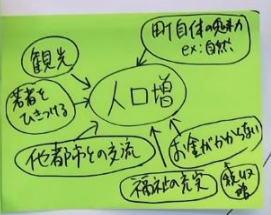
リタイアした人々が
従事して、働きがい
のある状況を醸成。
〔農業〕

週休3日制の町
入る余暇を

子育てしやすい町
(療育保育が充実⇒
母親が働きやすくなる)

大都会でその
中間的な町(Sook)
LIFEの町が良い
コミュニケーションが
取りやすい

「発信力」を工夫



労働力と町の活性化
が伴う町。

ご意見

大間町
(建設中の原突、アワビ等の
種苗施設)を視察した人
から「早業に良かった」と聞くと
皆に共有すべきではないか。

お話の場での
提案は、一般市民
の認知の度合い
で意見交換は。

<歴史・旧跡>
田空が訪れた
土地として貴重
(海神社)

とりくみの 進め方

これだけ議論中
で実現はなかなか
取り組めない。

議論の 進め方

今あらためて意見を出す
のではなく、今までグル
ープで出した意見を深掘り
すべきではないか。

テーマを決めて
議論をすすめる
べき。